

WATAKYU HOLDINGS

COMPANY PROFILE



WATAKYU
HOLDINGS

シンボルマークに込めた想い

シンボルマークは、WATAKYU HOLDINGSの「W」と「H」をベースに王冠の形をモチーフとして作成。

医療、福祉、健康(レジャー)の3つの分野で活躍するワタキューグループ(W)をホールディングス(H)が支えるイメージとともに、

日本一を目指し、栄冠を手に入れるることを表現しています。

マークの赤は、赤い日本地図マークであった綿久時代の「原点」を見つめながら、

未来を目指す「情熱」を持っていこうという意味を込めています。



サステナビリティ

私達は「心」を社是に、社会的課題への取り組みを通じて、持続可能な社会の発展に寄与していきます。

ワタキュー グループのSDGs

ワタキュー グループ各社は、それぞれ特色ある事業活動を展開しており、サステナビリティに対する課題や方針も多様です。私達は持続可能な開発目標(SDGs)に取り組むことの重要性を認識し、グループ共通の4つのマテリアリティ(重要課題)を特定しました。

STEP

1

■ 課題のリストアップ

SDGsとの関連付け: グループ中核5社(ワタキュー セイモア、日清医療食品、フロンティア、メディカル・プラネット、古久根建設)の事業活動および取り組みについて、SDGsの17のゴールとの関連性を分析・整理。
課題の整理: 5社が重要と考える事業・取り組みを、課題として整理。(例: 医療機関・福祉施設が抱える課題解決への貢献)

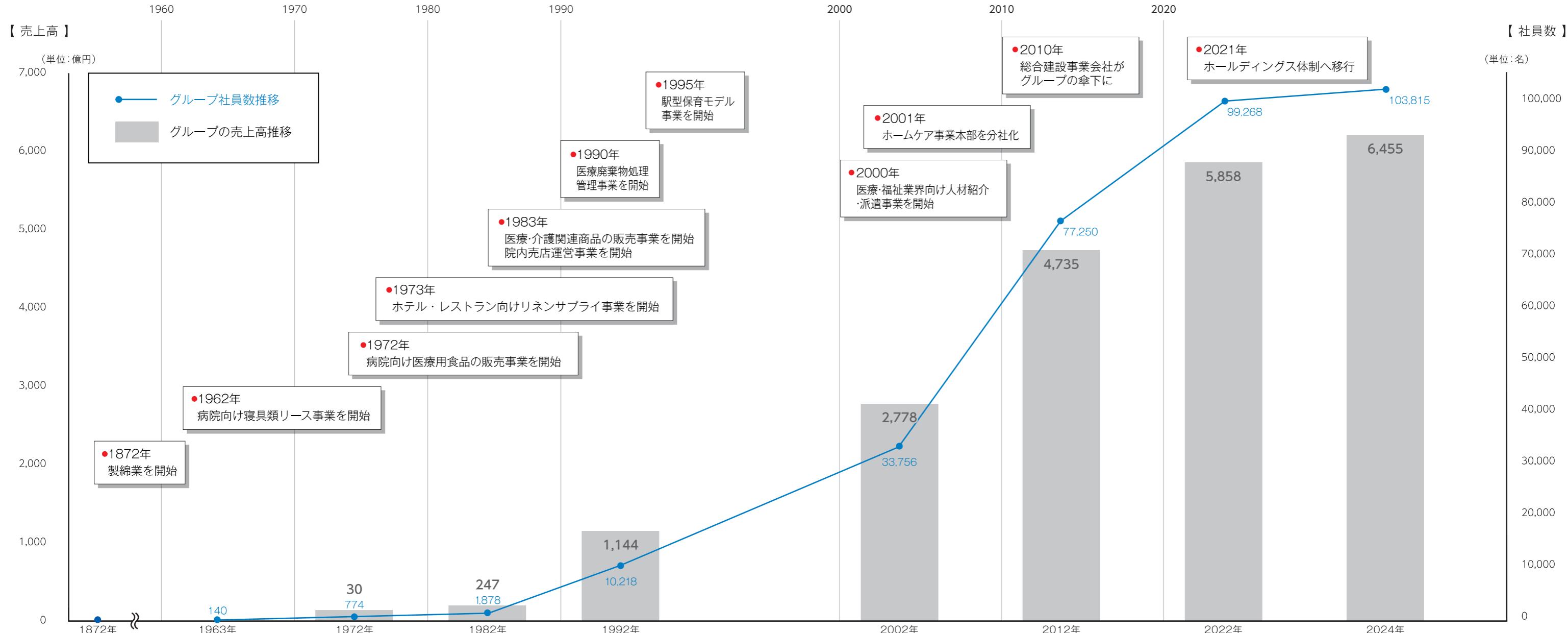
STEP

2

■ 課題の分析と重要度評価

マップの統合: 5社のマップを統合し、類似する課題を集約(例: 健康と快適の追求)、グループ共通の課題とする。
重要課題の選定: マテリアリティマップの2軸で高

ワタキューグループのあゆみ



1872年10月 村田久七が製綿業を始める

1950年 2月 綿久製綿(株)設立

〈代表取締役社長 村田清次〉
布団綿製造を主体に関西地区、北海道地区にて販売

1962年 7月 綿久寝具(株)設立
〈代表取締役社長 村田清次〉
病院基準寝具委託業者となり、病院向け寝具類リース事業を開始

1967年 2月 綿久寝具(株)が綿久製綿(株)及び九州綿久寝具(株)を吸收合併

1971年 4月 沖縄綿久寝具(株)設立
白衣リース事業を開始、総合リネンサプライ事業へ拡充

1972年 9月 日清医療食品(株)設立
病院向け医療用食品の販売事業を開始

1973年 1月 編久リネン(株)設立
ホテル・レストラン向けリネンサプライ事業を開始

1981年 9月 編久寝具(株) 代表取締役社長 村田秀太郎就任

1983年11月 センチュリーハルティ(株)設立(現(株)フロンティア)
医療・介護関連商品の販売・院内売店運営事業を開始

1990年10月 メディポートシステム(株)設立
医療廃棄物処理管理事業を開始

1992年 7月 CI導入により綿久寝具(株)からワタキューセイモア(株)に社名変更
「ワタキューグループ厚生年金基金(現 企業年金基金)」設立

1995年11月 駅型保育モデル事業を開始
「ワタキューキンダーハイム」(仙台市)開所

1997年 8月 ワタキューセイモア(株) 代表取締役社長 安道光二就任

2000年 8月 (株)メディカル・プラネット設立
医療・福祉業界向け人材紹介・派遣事業を開始

2001年 2月 福祉用具レンタル・販売、住宅改修・改造事業を行うホームケア事業本部を分社化、(株)ハートウェル設立

2007年 7月 ワタキューセイモア(株)がメディポートシステム(株)を合併

2009年12月 特別目的会社(株)SPC京都設立、京都市立病院整備運営事業を開始

2010年11月 古久根建設(株)がワタキューグループの傘下に

2011年 4月 ワタキューグループ研修センター「一心館」開校

2013年 4月 (株)フロンティアが(株)ハートウェルを吸収合併

2016年 4月 「ワタキューアイランド」(仙台市)開園

9月 ワタキューセイモア(株) 代表取締役社長 村田清和就任

2018年 4月 「ワタキューアイランド」開館
2021年 2月 「一般財団法人ワタキューアイランド」設立

4月 持株会社ワタキューアホールディングス(株)設立
〈代表取締役社長 村田清和〉

2022年 7月 ワタキューセイモア(株)が綿久リネン(株)を吸収合併

10月 ワタキューグループ創業150周年